



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月30日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL http://www.m-ikkou.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務取締役 (氏名)櫻井 利治 (TEL)059(226)1193
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	7,574	7.6	278	△14.5	241	△35.4	319	12.0
28年2月期第1四半期	7,037	7.5	325	△11.9	373	7.5	284	19.4

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 165百万円(△39.2%) 28年2月期第1四半期 272百万円(34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	166.60	—
28年2月期第1四半期	148.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	25,213	7,346	29.1
28年2月期	24,796	7,249	29.2

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 7,346百万円 28年2月期 7,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	32.50	—	36.00	68.50
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	4.5	480	△26.9	460	△34.3	430	△14.5	224.41
通期	30,200	3.1	1,350	△5.4	1,300	△10.8	930	2.1	485.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年2月期1Q	2,035,000株	28年2月期	2,035,000株
29年2月期1Q	118,917株	28年2月期	118,917株
29年2月期1Q	1,916,083株	28年2月期1Q	1,916,083株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、企業業績および雇用情勢に改善傾向がみられ、全体として緩やかな回復基調にあります。一方で中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や、為替の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

調剤薬局事業におきましては、平成28年4月に実施されました調剤報酬改定で、「かかりつけ薬剤師・薬局」の評価が導入されるなど多様化するニーズへの対応が求められており、当社グループでは患者様の視点にたった「かかりつけ薬剤師・薬局」を目指し、人材教育・店舗作りに取り組んでおります。また、ヘルスケア事業におきましては、介護サービスの需要は一層拡大していくものの、これを支える人材の確保・育成が重要な課題となっております。

このような中、当社グループは超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、安全性を最優先としつつ事業規模の拡大および収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高7,574百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益278百万円(同14.5%減)、経常利益241百万円(同35.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益319百万円(同12.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、既存店の売上が伸長したことに加え、前年度に新規出店およびM&Aにより加わった店舗が寄与し、増収となりましたが、平成28年4月に実施された調剤報酬改定および薬価改定の影響等により、営業利益は減少となりました。この結果、売上高は5,890百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益370百万円(同16.4%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホームの入居者確保と、前期に新規開設した施設が寄与し売上は堅調に推移しました。この結果、売上高1,121百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益52百万円(同66.7%増)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中、三重県、岐阜県、滋賀県を中心に積極的な営業活動を行いました。また、平成28年4月に愛知県を中心にジェネリック医薬品を販売する大豊薬品株式会社を子会社化し、営業エリアの拡大を図りました。この結果、売上高533百万円(前年同期比51.9%増)、営業利益23百万円(同23.5%増)となりました。(内部売上を含む売上高は687百万円となり、前年同期比で42.4%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高29百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益13百万円(同7.0%減)となりました。

投資事業におきましては、有価証券売却損益289百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として163百万円を消去するとともに、全社における共通経費として182百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は25,213百万円となり、前連結会計年度末と比較して417百万円増加いたしました。

流動資産の合計は12,011百万円となり、前連結会計年度末と比較して758百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加974百万円、売掛金の減少174百万円によるものです。

固定資産の合計は13,202百万円となり、前連結会計年度末と比較して341百万円減少いたしました。これは主に、土地の増加113百万円、投資有価証券の減少485百万円によるものです。

負債合計は17,867百万円となり、前連結会計年度末と比較して320百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加390百万円及び賞与引当金の増加141百万円、未払法人税等の減少176百万円によるものです。

純資産合計は7,346百万円となり、前連結会計年度末と比較して96百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益319百万円、その他有価証券評価差額金の減少153百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想につきましては、平成28年4月7日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたし
ました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定によ
る取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変
更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っ
ております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点か
ら将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,808,580	6,783,154
売掛金	3,740,579	3,565,823
商品	1,043,428	1,046,710
その他	661,622	616,668
貸倒引当金	△800	△800
流動資産合計	11,253,411	12,011,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,301,868	6,269,893
土地	2,819,411	2,932,821
その他(純額)	405,453	362,054
有形固定資産合計	9,526,733	9,564,769
無形固定資産		
のれん	887,712	902,444
その他	280,552	267,101
無形固定資産合計	1,168,264	1,169,546
投資その他の資産		
投資有価証券	1,651,017	1,165,531
敷金及び保証金	591,964	637,138
その他	605,141	665,033
投資その他の資産合計	2,848,123	2,467,703
固定資産合計	13,543,122	13,202,019
資産合計	24,796,533	25,213,577
負債の部		
流動負債		
支払手形	12,011	27,337
買掛金	3,989,769	3,934,125
1年内返済予定の長期借入金	3,331,363	3,416,309
未払法人税等	434,249	257,866
賞与引当金	187,828	329,153
その他	850,351	874,074
流動負債合計	8,805,573	8,838,867
固定負債		
長期借入金	7,863,032	8,168,820
退職給付に係る負債	425,040	439,447
その他	453,235	419,881
固定負債合計	8,741,308	9,028,148
負債合計	17,546,882	17,867,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	5,461,534	5,711,789
自己株式	△199,317	△199,317
株主資本合計	7,016,267	7,266,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234,313	80,735
退職給付に係る調整累計額	△929	△696
その他の包括利益累計額合計	233,384	80,039
純資産合計	7,249,651	7,346,560
負債純資産合計	24,796,533	25,213,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	7,037,733	7,574,589
売上原価	6,256,330	6,796,825
売上総利益	781,402	777,763
販売費及び一般管理費	456,145	499,633
営業利益	325,257	278,130
営業外収益		
受取利息	105	99
受取配当金	2,110	328
権利金収入	71,296	—
業務受託料	967	276
助成金収入	1,780	3,533
その他	4,178	5,303
営業外収益合計	80,438	9,541
営業外費用		
支払利息	23,732	22,313
売買有価証券運用損	—	18,784
その他	7,976	5,122
営業外費用合計	31,708	46,219
経常利益	373,987	241,452
特別利益		
固定資産売却益	158	—
投資有価証券売却益	134,494	293,739
特別利益合計	134,653	293,739
特別損失		
固定資産売却損	—	11,108
固定資産除却損	153	547
投資有価証券売却損	805	4,142
特別損失合計	959	15,799
税金等調整前四半期純利益	507,682	519,393
法人税、住民税及び事業税	256,298	231,536
法人税等調整額	△33,562	△31,375
法人税等合計	222,736	200,160
四半期純利益	284,945	319,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,945	319,232

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	284,945	319,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,340	△153,577
退職給付に係る調整額	8,195	232
その他の包括利益合計	△12,145	△153,345
四半期包括利益	272,799	165,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,799	165,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,601,324	1,056,201	351,067	29,140	7,037,733	—	7,037,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	841	132,112	9,300	142,254	△142,254	—
計	5,601,324	1,057,042	483,180	38,440	7,179,988	△142,254	7,037,733
セグメント利益	442,790	31,749	18,662	14,982	508,185	△182,927	325,257

(注) 1 セグメント利益の調整額△182,927千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用196,467千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,890,456	1,121,201	533,096	29,834	7,574,589	—	7,574,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	91	154,809	9,000	163,901	△163,901	—
計	5,890,456	1,121,293	687,906	38,834	7,738,490	△163,901	7,574,589
セグメント利益	370,320	52,930	23,052	13,931	460,234	△182,103	278,130

(注) 1 セグメント利益の調整額△182,103千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用195,697千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。